



飯高

ジャーナル

Iiko Journal

長野県飯山高等学校

令和元年 7月特別号 (R1.7.31)

甲子園特集



第101回全国高校野球選手権長野大会

夢の舞台「甲子園」へ 決勝で伊那弥生ヶ丘に延長サヨナラで勝利

『雪国から甲子園へ』をスローガンに取り組んできた野球部が夢の切符を手に入れました。7/6(土)に開幕した第101回全国高校野球選手権長野大会で、本校は2回戦で諏訪二葉、3回戦で第2シードの都市大塩尻に勝利すると、4回戦で上田、準々決勝で岡谷南を撃破、準決勝では第3シードで優勝大本命といわれた上田西に快勝、創部以来初めて決勝に駒をすすめました。

7/21(日)の決勝戦は伊那弥生ヶ丘との公立校同士の対戦となりました。序盤を優勢にすすめながら6回に同点に迫られると、毎回ピンチの連続。しかし10回裏二死一・三塁から常田投手がサヨナラ打を放ち苦しい戦いに勝利、初の優勝に輝きました。会場となった松本市野球場には、吹奏楽部や一般生徒・保護者が大勢応援に駆けつけ、歓喜の瞬間をわかちあいました。

夕方には学校の校舎前で優勝報告会が行われ、足立飯山市長をはじめ、生徒や野球部OB・市民の方々など約300名が出迎え、優勝旗や楯・賞状を手にした部員らがバスから降りると盛大な歓声と拍手がわきおこりました。大川主将は「甲子園でも自分たちらしい楽しい野球をして飯山高校の名を響かせたい」と決意を込めてあいさつをしました。また翌日には全校生徒に対して優勝報告会が行われ、夢を実現した野球部に大きな声援と拍手が送られました。



▲優勝の歓喜に沸く飯高ナイン



▲優勝を喜ぶ吹奏楽部員



▲大勢の生徒・市民が出迎えるなか選手たちが凱旋帰校

◀甲子園出場を報じるスポーツ新聞校舎4Fから飾られたお祝いの垂れ幕▶



▲全校生徒の前で優勝を報告

7/31 甲子園に向け意気揚々と出発

「雪国から甲子園へ」を実現したことは大きな反響を呼び、地域の方々をはじめ多くの皆様からお祝いや激励の電話・電報、部員への差し入れが相次ぎ、うれしい悲鳴をあげています。市内のいたるところにお祝いの横断幕・懸垂幕・ポスターなどが飾られ、選手たちも期待に応えるべく練習に取り組んでいます。校内でも、校内社行会の挙行、チアリーダーの結成、吹奏楽部との合同応援練習などあわただしく準備が始まっています。また、「飯山高校甲子園出場実行委員会」(同窓会・PTA・野球部OB会・野球部保護者会・飯山商工会議所・地域の首長らで組織)が結成され、募金体制・応援体制の構築などの準備を進めています。

選手たちは、7/28(日)に飯山市役所、7/30(火)に長野県庁を表敬訪問し、7/31(水)に甲子園に向かってバスで出発しました。朝8時30分から行われた出発式には多くの市民が駆け付け選手たちに声援を送りました。



▲飯山市の足立市長を表敬訪問



▲新たに結成されたチアリーダーも炎天下で必死の練習



▲出発式で決意を述べる大川主将(左)、多くの市民の声援を受け出発(右)



地域の皆様の応援バスについて

組み合わせ抽選(8/3)後から正式な受付を始めます。

■現時点での問合せ先

JTB長野支店 TEL:026(227)5432

※8/2(金)には学校内にJTB窓口と専用電話が設置されます

■参加料金(予定) 18,000円程度(バス代・専用入場券・弁当代・応援グッズ・保険料を含んでいます)

※一般入場券では応援団席には入れません。

■申込は専用窓口の他、インターネットでも可能になる予定です。

募金のご協力をお願いします

《募金期間》 令和元年8月20日(火)まで

※銀行振込の場合は、以下の口座をお願いします

●八十二銀行飯山支店(普通口座 673465)

【名義】飯山高校甲子園出場実行委員会

●ながの農協飯山支所(普通口座 0033498)

【名義】飯山高校甲子園出場実行委員会

●ゆうちょ銀行(口座番号 00510-5-102411)

【名義】長野県飯山高等学校同窓会

《事務局》飯山市大字飯山2610 飯山高校内
TEL:0269(62)4175

※募金専用の振込用紙は、飯山高校の他、市町村役場・市内コンビニ等にも置いてあります。